

令和2年度 後期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 自己評価委員会

自己評価専門部会

目 次

- 1 はじめに
 - 2 全体の概要
 - 3 全体の集計結果
 - 4 対象となる授業一覧
 - 5 資料
 - 5-1 授業評価票（別紙1）
 - 5-2 自己点検レポート（サンプル）（別紙2）
- 個々の授業別結果 及び 教員の自己点検レポート

1 はじめに

本報告書は、令和2年度 後期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。今回も、非常勤講師を含めた全教員の授業を対象に授業評価を行った。

実際に授業評価アンケートの回収は前年度委員会にて行われており、アンケート提出も100%の科目数ではない状況での引継ぎであった。また、教員の自己点検レポートの提出も100%ではなく、非常勤講師も含め、回収率100%を目指すための手立てが必要と思われる。なお、履修者が1名以下の場合の授業は、学生個人が特定されるために調査していない。また、調査期間が新型コロナ感染状況を考慮し、オンライン授業となるものも多く、紙媒体にて調査を行っている現状では、実施が不可能となった科目もあった。オンライン授業時における調査のあり方を、早急に検討する必要がある。

授業評価の必要性の認識は学内に定着しつつあるものの、授業評価の必要性と大学教員としての義務や啓蒙という説明は、一部ではあるが教員の入れ替わりもあるために、数年に1度は必要なのではないかと思われる。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成20年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意

欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙 1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学習に対する意欲、課外学習の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクションとの 2 部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

集計結果は、全体のデータをまとめるとともに、個々の授業別結果（サンプルは別紙 2）を授業担当教員にもどし、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。各授業の各項目について、大学全体の 5 段階の平均値が示されており、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出(サンプルは別紙 3)する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを 300 字程度のレポートにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の点について自己点検することになっている。

- 1 前回からの改善点（前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。）
- 2 授業評価結果についての分析（「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」）
- 3 「上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み
- 4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題
- 5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物と

して学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

3 全体の集計結果

令和2年度前期の授業評価の全体の結果について、いずれの設問でも肯定的な回答が90%以上を占めており、全体的に評価は高いと言える。

学生自身の授業態度について、設問の「出席」の1の回答が66.9%ではあるが、「意欲的」「予習復習」ともに肯定的な評価が90%以上の回答であることから概ねよかった。

教員の取り組みについて、設問の「教材適正」「教育環境」「創意工夫」「授業時間」「対応」「シラバス」「薦めるか」の項目で、1の回答が85%以上であったことから高評価であることが分かる。一方、設問の「話し方」「理解度」については1の回答が80%以上ではあるが他の設問にくらべて若干低いことが分かる。

全体的な評価は高かったが、一部の設問では気になるところもあったので学生とのコミュニケーションを促すなどの改善に努めたいと考える。

4 対象となる授業一覧

令和2年度後期

科目番号	講義名	担当教員	アンケート提出	学科
1002	文学	栗原	○	保育・服飾美術
1004	日本国憲法	矢吹		保育・服飾美術
1005	教育学	秋川	○	服飾美術
1006	生命科学	高橋 (和)	○	保育・服飾美術
1008	心理学	長櫓	○	保育・服飾美術
1013	情報機器の操作Ⅱ	大原	○	保育
1015	情報処理演習Ⅱ	大原	○	服飾美術
1017	英語Ⅱ（コミュニケーション）	栗原	○	保育
1019	英語Ⅳ	栗原	○	保育
1021	フランス語Ⅱ	石井	○	服飾美術
1022	健康科学概論（1/4）	及川		保育
1023	健康科学概論（1/4）	及川		服飾美術
1027	英語Ⅱ（コミュニケーション）	栗原	○	服飾美術
1029	英語Ⅳ	栗原	○	服飾美術
2002	教育原理	土井		保育
2005	社会的養護Ⅰ	安形	○	保育
2007	教育の制度と社会	土井		保育
2009	発達心理学Ⅱ	長櫓	○	保育
2010	発達心理学Ⅱ	平岡	○	保育
2011	幼児理解の理論と方法	入江	○	保育
2013	子どもの食と栄養	小野		保育
2014	特別支援教育	眞次	○	保育
2015	教育相談	長櫓	○	保育

科目番号	講義名	担当教員	アンケート提出	学科
2019	健康の指導法	及川	○	保育
2020	人間関係の指導法	木戸	○	保育
2021	環境の指導法	大江	○	保育
2022	言葉の指導法	溝手	○	保育
2026	音楽表現の指導法	別府	○	保育
2027	造形表現の指導法	金山	○	保育
2028	身体表現の指導法	福武	○	保育
2029	劇表現の指導法	溝手	○	保育
2035	幼児と表現	溝手		保育
2036	幼児と表現	金山	○	保育
2037	幼児と表現	三川		保育
2038	幼児と表現	及川		保育
2039	幼児と器楽表現Ⅰ 進賀	進賀	○	保育
2040	幼児と器楽表現Ⅰ 高須	高須	○	保育
2041	幼児と器楽表現Ⅰ 中田	中田	○	保育
2042	幼児と器楽表現Ⅰ 山	山	○	保育
2043	幼児と器楽表現Ⅰ 田中	田中	○	保育
2044	幼児と器楽表現Ⅰ 別府	別府	○	保育
2045	幼児と器楽表現Ⅱ 進賀	進賀	○	保育
2046	幼児と器楽表現Ⅱ 高須	高須	○	保育
2047	幼児と器楽表現Ⅱ 中田	中田	○	保育
2048	幼児と器楽表現Ⅱ 山	山	○	保育
2049	幼児と器楽表現Ⅱ 青木	青木	○	保育
2050	幼児と器楽表現Ⅱ 田中	田中	○	保育
2051	幼児と器楽表現Ⅱ 長岡	長岡	○	保育
2052	幼児と器楽表現Ⅱ 別府	別府	○	保育
2053	幼児と歌唱表現Ⅰ	三川	○	保育
2054	幼児と歌唱表現Ⅱ	三川		保育
2057	児童文化学	溝手		保育

科目番号	講義名	担当教員	アンケート提出	学科
2058	乳児保育 I	平岡	○	保育
2060	子どもの健康と安全	平岡		保育
2061	障がい児保育	眞次	○	保育
2063	子育て支援	眞次	○	保育
2068	保育実習法 I	安形	○	保育
2072	教育実習	及川・見村		保育
2074	保育・教職実践演習	及川・長櫓・木戸		保育
2075	総合演習 安形	安形	○	保育
2076	総合演習 及川	及川		保育
2077	総合演習 金山	金山	○	保育
2078	総合演習 木戸	木戸	○	保育
2079	総合演習 栗原	栗原	○	保育
2080	総合演習 長櫓	長櫓	○	保育
2081	総合演習 平岡	平岡	○	保育
2082	総合演習 別府	別府	○	保育
2083	総合演習 眞次	眞次	○	保育
2084	総合演習 三川	三川	○	保育
2085	総合演習 溝手	溝手	○	保育
3002	アパレル総論	榊原・児島・菅野・高杉・前田・大原・岩崎・唐澤		服飾美術
3006	服飾造形実習Ⅱ	乾	○	服飾美術
3007	服飾造形実習Ⅲ	乾	○	服飾美術
3008	服飾造形実習Ⅳ	武永	○	服飾美術
3009	パターンメイキング(CAD) I	乾	○	服飾美術
3011	手工芸	高橋(敏)	○	服飾美術
3017	服飾材料学	道明	○	服飾美術
3018	服飾材料学実験	道明	○	服飾美術

科目 番号	講義名	担当教員	アンケート 提出	学科
3020	服飾人間環境学実験	佐藤（希）	○	服飾美術
3022	身体科学論	柳原	○	服飾美術
3025	ビジネス基礎	岩崎・大原・唐澤		服飾美術
3027	マーケティング論	岩崎		服飾美術
3028	消費者行動論	岩崎		服飾美術
3030	マーケティング戦略論	岩崎		服飾美術
3032	基礎経済学	唐澤		服飾美術
3033	地域産業論	唐澤		服飾美術
3034	まちづくり論	唐澤		服飾美術
3036	現代アート&デザイン史	趙	○	服飾美術
3040	モードデッサンⅡ	趙	○	服飾美術
3042	テキスタイルデザインⅡ	田中		服飾美術
3045	クリエイション演習	上村	○	服飾美術
3048	美術史	柳沢		服飾美術
3051	染織Ⅱ	田中	○	服飾美術
3052	染色	田中	○	服飾美術
3055	ビジュアルデザインⅢ	小寺	○	服飾美術
3059	表現演習	松内	○	服飾美術
3061	ディスプレイデザイン演習	松内		服飾美術
3064	インターンシップⅠ	服飾美術学科全教員		服飾美術
3065	インターンシップⅡ	服飾美術学科全教員		服飾美術
3066	課題研究 乾	乾	○	服飾美術
3067	課題研究 岩崎	岩崎		服飾美術
3068	課題研究 上村	上村		服飾美術
3069	課題研究 大原	大原		服飾美術
3070	課題研究 唐澤	唐澤		服飾美術
3071	課題研究 佐藤	佐藤	○	服飾美術
3072	課題研究 田中	田中	○	服飾美術
3073	課題研究 趙	趙	○	服飾美術

科目番号	講義名	担当教員	アンケート提出	学科
3074	課題研究 松内	松内	○	服飾美術
3075	課題研究 道明	道明	○	服飾美術
3076	卒業研究 乾	乾	○	服飾美術
3077	卒業研究 岩崎	岩崎		服飾美術
3078	卒業研究 上村	上村	○	服飾美術
3079	卒業研究 大原	大原		服飾美術
3080	卒業研究 唐澤	唐澤		服飾美術
3081	卒業研究 佐藤	佐藤	○	服飾美術
3082	卒業研究 田中	田中	○	服飾美術
3083	卒業研究 趙	趙	○	服飾美術
3084	卒業研究 松内	松内		服飾美術
3085	卒業研究 道明	道明	○	服飾美術
3088	表現演習Ⅲ	松内	○	服飾美術
3090	地域まちづくり演習	唐澤		服飾美術
3091	課題研究 武永	武永	○	服飾美術
4004	スポーツ2	及川	○	保育臨床専攻
4005	生活福祉論	安形	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4012	ビジュアルデザイン演習	ウォルトン		服飾美術専攻
4014	ドローイングⅡ	野村		服飾美術専攻
5002	幼児の音楽遊び演習Ⅱ	三川	○	保育臨床専攻 (R2 開講)
5006	音楽指導法特別演習Ⅰ	別府	○	保育臨床専攻
5008	造形指導法特別演習Ⅰ	金山	○	保育臨床専攻
5010	身体・運動指導法特別演習	及川	○	保育臨床専攻 (R2 開講)
5013	比較教育特論	土井		保育臨床専攻
5018	保育・教育臨床心理学実践特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5019	児童文化学特論	溝手	○	保育臨床専攻
5020	幼稚園体験活動	及川		保育臨床専攻
5022	専門英語文献講読	栗原	○	保育臨床専攻
5026	親子支援演習	木戸	○	保育臨床専攻

科目番号	講義名	担当教員	アンケート提出	学科
5027	子どもの音楽療法	三川	○	保育臨床専攻
5028	障がい児保育特論	眞次	○	保育臨床専攻
5030	子育て支援実習	眞次	○	保育臨床専攻
5031	特別研究Ⅰ 安形	安形		保育臨床専攻
5032	特別研究Ⅰ 及川	及川		保育臨床専攻
5033	特別研究Ⅰ 金山	金山		保育臨床専攻
5034	特別研究Ⅰ 木戸	木戸		保育臨床専攻
5035	特別研究Ⅰ 栗原	栗原		保育臨床専攻
5036	特別研究Ⅰ 長櫓	長櫓		保育臨床専攻
5037	特別研究Ⅰ 平岡	平岡		保育臨床専攻
5038	特別研究Ⅰ 別府	別府	○	保育臨床専攻
5039	特別研究Ⅰ 眞次	眞次		保育臨床専攻
5040	特別研究Ⅰ 三川	三川		保育臨床専攻
5041	特別研究Ⅰ 溝手	溝手	○	保育臨床専攻
5042	特別研究Ⅱ 安形	安形		保育臨床専攻
5043	特別研究Ⅱ 及川	及川		保育臨床専攻
5044	特別研究Ⅱ 門田	門田		保育臨床専攻
5045	特別研究Ⅱ 金山	金山		保育臨床専攻
5046	特別研究Ⅱ 木戸	木戸		保育臨床専攻
5047	特別研究Ⅱ 栗原	栗原		保育臨床専攻
5048	特別研究Ⅱ 長櫓	長櫓		保育臨床専攻
5049	特別研究Ⅱ 平岡	平岡		保育臨床専攻
5050	特別研究Ⅱ 別府	別府		保育臨床専攻
5051	特別研究Ⅱ 眞次	眞次	○	保育臨床専攻
5052	特別研究Ⅱ 三川	三川		保育臨床専攻
5053	特別研究Ⅱ 溝手	溝手	○	保育臨床専攻
6001	生活文化環境論	服美全教員	○	服飾美術専攻
6004	服飾造形実技Ⅰ	武永		服飾美術専攻
6006	服飾造形実技Ⅲ	武永	○	服飾美術専攻

科目番号	講義名	担当教員	アンケート提出	学科
6008	手工芸演習	高橋 (敏)	○	服飾美術専攻 (R2 開講)
6010	被服衛生学	佐藤	○	服飾美術専攻 (R2 開講)
6012	被服生理学実験	佐藤	○	服飾美術専攻
6013	アパレル材料科学実験	道明	○	服飾美術専攻 (R2 開講)
6019	ブランド論	岩崎		服飾美術専攻
6024	デザインマネジメント	趙		服飾美術専攻 (R2 開講)
6027	テキスタイルデザイン論	田中	○	服飾美術専攻 (R2 開講)
6030	工芸染織	田中	○	服飾美術専攻
6031	染色実習	田中		服飾美術専攻
6034	ライフプロダクト演習 I	上村		服飾美術専攻
6037	特別研究 乾	乾	○	服飾美術専攻
6038	特別研究 岩崎	岩崎		服飾美術専攻
6039	特別研究 上村	上村		服飾美術専攻
6040	特別研究 大原	大原		服飾美術専攻
6041	特別研究 唐澤	唐澤		服飾美術専攻
6042	特別研究 佐藤	佐藤	○	服飾美術専攻
6043	特別研究 田中	田中		服飾美術専攻
6044	特別研究 趙	趙		服飾美術専攻
6045	特別研究 松内	松内		服飾美術専攻
6046	特別研究 道明	道明		服飾美術専攻

5-1 授業評価票（別紙1）

令和2年度 前期・**後期** 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生諸君の学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的として、本学自己評価委員会が実施するものです。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。ご協力をよろしくお願いいたします。

自己評価専門部会

* 自由記述以外の回答はすべて、該当する番号を右端の回答欄に記入してください。

学科／専攻	1. 保育学科／専攻科(保育臨床専攻) 2. 服飾美術学科／専攻科(服飾美術専攻)
学年・所属	1. 1年 2. 2年 3. 科目等履修生

I あなた自身の授業態度についてお答えください。(わからない場合は、回答欄は空欄のまま
で結構です)

NO.	問い	選 択 肢
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1. 欠席しなかった 2. 1～2回欠席した 3. 3～4回欠席した 4. 5回欠席した 5. 6回以上欠席した
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。	1. 意欲的に取り組んだ 2. どちらかという、意欲的に取り組んだ 3. どちらともいえない 4. どちらかという、意欲的に取り組まなかった 5. 意欲的に取り組まなかった

3	あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。	1. 積極的に取り組んだ 2. どちらかという、積極的に取り組んだ 3. どちらとも言えない 4. どちらかという、積極的に取り組まなかった 5. 積極的に取り組まなかった
---	---	--

II この授業の評価についてお答えください。

NO.	評価項目（質問事項）	選 択 肢
4	教員の話し方は、明瞭でわかり易いものでしたか。	1. わかり易いものだった 2. どちらかという、わかり易いものだった 3. どちらともいえない 4. どちらかという、わかり易いものではなかった 5. わかりにくかった
5	使用テキスト、副教材（資料プリント等を含む）は、適切だと思いましたか。	1. 適切だと思った 2. どちらかという、適切だと思った 3. どちらともいえない 4. どちらかという、不適切だと思った 5. 不適切だと思った
6	授業を行う上での機器や機材等の教育的環境は、満足できるものでしたか。	1. 満足できた 2. どちらかと言うと、満足できた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、満足できなかった 5. 満足できなかった
7	授業内容をより良く理解させるための創意・工夫が感じられましたか。	1. 創意・工夫が感じられた 2. どちらかという、創意・工夫が感じられた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、創意・工夫は感じられなかった 5. 創意・工夫が感じられなかった
8	授業の特性を考慮した上で、授業の開始時間および終了時間は、満足できるものでしたか。	1. 満足できた 2. どちらかという、満足できた 3. どちらともいえない

		<ul style="list-style-type: none"> 4. どちらかという、満足できなかった 5. 満足できなかった
9	授業の内容は、十分に理解できましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 十分に理解できた 2. どちらかと言うと、理解できた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、理解できなかった 5. 理解できなかった
10	教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 適切に対応してくれた 2. どちらかという、適切に対応してくれた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、不適切な対応だった 5. 不適切な対応が多かった
11	シラバスに基づいて授業を展開しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. シラバスに基づいて展開した 2. どちらかという、シラバスに基づいて展開した 3. どちらともいえない 4. どちらかという、シラバスに基づいての展開ではなかった 5. シラバスに基づいての展開ではなかった
12	この授業内容について、他の人(とくに後輩たち)にも受講を薦めたいと思いませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 是非、薦めたい 2. どちらかという、薦めたい 3. どちらともいえない 4. どちらかという、薦めたくない 5. まったく、薦めたくない
追加質問 13		

自由記述	その他、気づいたことがあれば、自由に書いて下さい。
------	---------------------------

5-2 「自己点検レポート」(サンプル)(別紙2)

令和2年後期授業評価：自己点検レポート

担当教員氏名〔 〕

学科・専攻名〔 学科／ 専攻〕

授業評価 科目名〔 〕 授業番号〔 〕

*** 提出期限：令和3年10月8日(金)**

提出について(データファイルと紙媒体の両方)

・データファイル：提出先：令和3年度自己評価専門部会(別府、beppu@m.kurashiki-cu.ac.jp)(wordファイルで)

・提出内容：ファイル名「授業自己点検 rep」の前に「授業番号・氏名・教科名」をつけてください。

・紙媒体：印刷したレポートの1部を事務局においてあるボックスに入れてください。

※字数：1・2については300字程度(必ず記入)，3・4は制限なし

- 1 前回からの改善点(前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。)

- 2 今回の授業評価結果についての分析(「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」がわかるように、箇条書きで記載してください。)

3 上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み

--

4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題

--

5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

--

2022年3月31日

倉敷市立短期大学 令和3年度自己評価委員会 自己評価専門部会

保 育 学 科： 及川 直樹，別府 祐子

服飾美術学科： 上村 晴彦，佐藤希代子

編 集 担当： 佐藤希代子

まとめ

調査票件数: 1689

選択肢	1 出席	2 意欲的	3 予習復習	4 話し方	5 教材適正	6 教育環境	7 創意工夫	8 授業時間	9 理解度	10 対応	11 シラバス	12 薦めるか
1	1130	1428	1373	1397	1464	1481	1444	1459	1380	1520	1486	1467
2	469	228	233	204	160	155	192	165	245	133	136	141
3	76	29	70	68	57	48	44	46	52	31	63	67
4	13	4	13	12	7	4	6	18	9	3	3	4
5	1	0	0	8	1	1	3	1	3	1	0	4
	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1688	1688	1683

